

更生教育 実効性に疑問

福岡県豊前市で昨年1月、小学5年の女児が当時(10)を連れ去り殺害したとして殺人罪などに問われ、福岡地

ラムの実効性に対する疑問の声が上がっており、薬物治療など踏み込んだ対策の必要性を訴える声もある。

刑務所に性犯罪の再犯防止プログラムが導入されたのは2006年。性犯罪の前科がある男が04年に奈良県で起つた。

法」を施し、性衝動をコントロールできるようになるのが狙い。だが、小学生女児などを狙つた性犯罪で過去に約12年間服役していた内間被告は公判で「(性衝動の制御方法は)覚えていない」と振り返った。

哲也常磐大大学院教授は「プログラムがより有効に機能するよう環境を整える必要がある」と訴える。

子どもを狙つた性犯罪は再犯の可能性が高いとされ、日本では13歳未満を対象にした性犯罪者に限り、法務省が出所時の情報を警察庁に提供。

米国の一部の州は、性犯を踏みどまれなかつて連絡を受けていたが、内間被告は「覚えていない」と訴えた。この事件を起こし、再犯を防ぐためのプログラムを刑務所で開発されたことから、プログラ

行に至る行動と思考パターンを省みさせる「認知行動療

福岡小5殺害

性犯罪防げず

出所後、所在確認も難しく